

木更津工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	環境管理手法
科目基礎情報					
科目番号	0024		科目区分	専門 / 必修選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	環境都市工学科		対象学年	5	
開設期	後期		週時間数	1	
教科書/教材	必要に応じて資料を配布				
担当教員	上村 繁樹, 大久保 努, 湯谷 賢太郎				
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>地球環境の基本現象, 大気環境の保全対策, 水環境の保全対策が理解できる.</li> <li>土壌環境の保全対策, 環境中の化学物質, 廃棄と循環, 自然環境の保全対策が理解できる.</li> </ul>					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
地球環境 (大気, 水, 土壌) の基本現象	応用課題を解ける	配布資料, 学習ノートを見ながら課題を解ける	配布資料, 学習ノートを見ても課題が解けない		
環境化学物質の影響と環境リスク算出	応用課題を解ける	配布資料, 学習ノートを見ながら課題を解ける	配布資料, 学習ノートを見ても課題が解けない		
学科の到達目標項目との関係					
JABEE B-2 準学士課程 2(2)					
教育方法等					
概要	最近のわが国における環境問題とその対策への取り組みの動向と、環境保全技術に求められている要件を踏まえ、その中核となっている大気環境, 水環境, 廃棄物などの問題に関する対策と技術の基礎的事項について学習する.				
授業の進め方・方法	・ 中間試験および定期試験を実施し, 試験成績 (2回の試験の平均点) を90%, レポートを10%として評価する.				
注意点	・ 授業90分に対して教材等で90分以上の予習, 復習を行うこと.				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス	本科目の概要, 達成目標, 評価方法等に関する説明	
		2週	地球環境の基本現象	物質の循環を理解	
		3週	地球環境の基本現象	エネルギーの循環を理解	
		4週	大気環境の保全対策	大気圏の汚染と物質循環を理解	
		5週	大気環境の保全対策	大気汚染物質の除去技術を理解	
		6週	水環境の保全対策	地球環境と水, 水環境の汚染を理解	
		7週	水環境の保全対策	水環境の汚染, 水の利用と保全を理解	
		8週	後期中間試験	後期中間試験までの学習内容	
	4thQ	9週	土壌環境の保全対策	土壌と地下構造の基礎知識を理解	
		10週	土壌環境の保全対策	土壌汚染の実態と対策を理解	
		11週	環境中の化学物質	化学物質が生物へ及ぼす影響を理解	
		12週	環境中の化学物質	生活環境中の毒性化学物質を理解	
		13週	廃棄と循環	廃棄物の処理, 循環型社会を理解	
		14週	環境リスク	環境リスク算出の基礎知識	
		15週	環境リスク	環境リスク算出の基礎知識	
		16週	後期定期試験	後期中間試験以降の学習内容	
評価割合					
	試験	レポート	合計		
総合評価割合	90	10	100		
基礎的能力	30	10	40		
専門的能力	30	0	30		
分野横断的能力	30	0	30		